



# よりよい未来に向けて 必要な力を考える学びを

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



くる力につながっている  
と分かれれば、取り  
組み方も変わってこ  
るはず。SDGsの学  
びは、そのきっかけに  
なると思います」と、そ  
の意義を語ります。  
SDGs教育は、持  
続可能な社会を实  
現することの必要性  
だけでなく、誰もが  
未来を変える力を  
持つていくことを子  
どもたちに伝えてい  
ます。



昨年は5年生の授業において、木曾三川を通じて伊勢湾に流れ込む海洋ごみの中には、岐阜県に由来するものも多いことを取り上げ、特に深刻な海洋ごみ問題に取り組みむ志島の現状を学習。授業を担当した後藤翔大先生は、実際に志島の環境保全に取り組む四日市大学環境情報学部の千葉賢教授を訪ね、アドバイスをもらいながら9回にわたる授業を展開しました。

子どもたちは、実際に志島の北西部に位置する奈佐の浜から持ち帰った砂から、海洋生物や環境に大きな影響を与えると思われる微小なプラスチック粒子・マイクロプラスチックスを採集。授業後には、岐阜県には海はないが、川は海につながる、海洋ごみ問題は私たち全体の



写真の左上が授業の様子。右下は授業で採集したプラスチック。

### 授業の学びを未来につなげるのが

こうした学習は、日常の中でも子どもたちに変化をもたらし続けています。例えば毎日給食では、牛乳に使用するストローが本来に必要なのかと、自主的に問題意識を持ち始める姿も見られるように。石神淳司校長は「子どもたちからは、ストローの使用は衛生面のメリットもあるという意見も出され、こうした問題は1つの正解が出せることではありません。しかし大切なのは、これまでの学習や経験から、自分たちができることを考え、実践すること。その中で、日々行っている各教科の学習や活動も、すべてよりよい未来をつ



### 自分ができることを自ら考える機会に

岐阜市立長良西小学校では、未来の幸福な人生とよりよい社会をつくるために何ができるかを子どもたち自身が考えるために、その入口となる授業が必要と見え、3年前から3年生以上の総合的な学習の時間に、SDGs教育を取り入れてきました。

## SDGs特集 教育 × SDGs

### 第2回

持続可能な社会の実現に向けて、今の時代に生きる私たちができること。その1つが、未来の担い手である子どもたちへその大切さを伝え、よりよい社会づくりに主体的に関わって力を育むことです。そのために、今多くの教育現場でSDGs教育の取り組みが始まっています。

### プロジェクト特設サイトオープン

#### 最新事例を紹介

支援している企業の  
取り組み情報や活動事例の  
紹介はこちらから



取り組み企業、事例について  
お寄せください。

SDGs岐阜推進プロジェクト事務局  
中日アド企画 岐阜支社内  
岐阜市柳ヶ瀬通1-12 岐阜中日ビル7階  
TEL.058-265-6281

OKB 大垣共立銀行

社会保険労務士  
加藤一正事務所

岐阜県 J A グループ

岐阜信用金庫

株式会社 三光堂

私たちは持続可能な  
開発目標SDGsを  
支援しています。

※50音順

SUNSHOW GROUP  
三承工業株式会社

十六銀行

トヨタホーム岐阜株式会社

子ども達の可能性を引き出します。  
HUMAN HEART

株式会社 マルエス産業